

2025年2月発行 文責 にじいろこどもクリニック 院長 相澤知美

こんにちは。今年は雪が多くて大変ですが、2月が過ぎると春が近づいてきますので、もう少しの辛抱でしょうか。

インフルエンザAが落ち着いたと思ったら、1月末から新型コロナウイルス感染者が増えました。インフルエンザBの増加はまだ見られないようです。相変わらず、様々な感染症が混在していますので気を付けて下さい。

春といえば、花粉症の季節です。花粉が本格的に飛ぶ前から内服を開始した方が症状は抑えられますので、毎年抗アレルギー薬の内服が必要な方は、お早めに受診して下さい。

アレルギー性鼻炎

アレルギー性鼻炎はくしゃみ、鼻水、鼻づまりを主な症状とし、ダニによる**通年性アレルギー性鼻炎**と、花粉（スギ、ヒノキ、イネ科、雑草類等）による**季節性アレルギー性鼻炎**に分類されます。

いずれも有病率は増加しており、2019年の都道府県別有病率では、青森県は通年性24.1%、スギ花粉症31.7%、アレルギー性鼻炎全体では44%（全国平均49.2%）、半数近くの方が何らかのアレルギー性鼻炎であるということになります。

治療はまず**抗原回避**として、ダニの場合は掃除や寝具の洗濯、花粉の場合はマスク着用、衣類に着いた花粉の除去が重要です。薬物療法は、**抗アレルギー薬の内服**（くしゃみと鼻漏に効く抗ヒスタミン薬と、鼻閉に効く抗ロイコトリエン薬等）や、**ステロイド点鼻薬**が中心となります。

アレルギー性鼻炎は自然治癒が難しい疾患です。よって根本的に治したいという場合は「**アレルゲン免疫療法**」という治療があり、注射による「**皮下免疫療法**」と、口の中で溶ける錠剤の「**舌下免疫療法**」があります。舌下免疫療法が出来るのは、ダニとスギのアレルギー性鼻炎の方です。毎日抗原を投与し、症状を抑える方向の免疫を活性化させる治療法で、根治もしくは長期寛解が期待できます。

現在、スギ花粉症の舌下免疫療法は、治療薬の不足から全国的に新規に開始することが十分にできない状況にあります。ダニの舌下免疫療法は当院でも開始できます。年齢は5歳以上です。

アレルギー性鼻炎の検査や治療について、お悩みの方や詳しく知りたいという方は、ご相談下さい。

3月の予定

3月6日(木) 17:00（16:30予約）まで

3月21日(金) 16:00（15:30予約）まで

3月22日(土) 9:00～診療開始

過去2週間の感染症発生状況

感染症	2/3～	2/10～
インフルエンザA	8	5
新型コロナウイルス	16	9
マイコプラズマ	1	1
溶連菌	3	4
アデノウイルス	1	4
RSウイルス	2	1
ヒトメタニューモ	0	1

その他、胃腸炎の方は多く、りんご病、水痘も一部で流行しています。新型コロナウイルスが小学校、保育園で流行していましたが、少し落ち着いてきました。

子宮頸がんワクチン キャッチアップ接種期間延長について

2025年3月までのキャッチアップ接種期間に1回以上の接種をした方に限り、2026年3月まで全3回の接種を公費で完了出来ることになりました。詳しくは厚生労働省ホームページをご覧ください。